

小学校に入ったら

まず宿題！
遊びに行くのは
それからでしょ!?

まだ時間割を
あわせてないの!!

忘れもの
ばっかり!

どうして
勝手な約束を
してくるの!



さっさとしなさいよ、
なんでグズグズ
してるの!?!?

…大人があきれてあせってしまう、お子さんのそんな行動はありませんか?

小学校に入ると、朝が慌ただしいですね。「宿題は?」「時間割は?」「忘れものはない?」「集団登校の時間に間に合う?」…朝もそうですが、学校から帰ってきてからも大変です。

子どももこれまでと違って**自分でしなければならない**ことが増えて、させる方も一苦労ですよ。この年齢になると、「まずこれをやって、次にあれをやって」と**段取りをつけて頑張れる力もありますが、はじめはどうすればいいのかわからない**こともたくさんあります。

お子さんがやり方をわかり、1人でもやれるペースが身につくまでは、一緒にやってあげたり、そばで見守りながらさせてあげるといいかもしれませんね。

そして「頑張ってるね」「ちゃんとやれてるね」「おにいちゃんになったね」なんて言ってもらえると嬉しくなり、もっと頑張ろうという気持ちになるでしょう。



友達関係がひろがると、学校で友達と遊ぶ約束をして帰ってきたりするようになります。用事があるのに約束してきてしまったり、遊ぶ約束をしたつもりで公園に行ったら相手の子が来なかったとガッカリして帰ってきたり、時にはお互いの親が知らないところで家に泊まりに行く約束をしてしまい、「~ちゃんのお母さんは、いいって言ってるよ」というようなことが起こったりもします。

“約束”の**仕方がわからず**に、待ち合わせ場所や時間があいまいだったり、家の都合が頭になかったりするんですね。何ごとともはじめから上手にできることはないので、「今度から、約束する時はうちの人に聞いてからにしてね」とか、「何時にどこで待ち合わせするかハッキリ決めるようにしようね」と、うまく約束するコツを教えてあげるといいですね。



“てんてこまい”で何がなんだかわからない

- “てんてこまい”できているお父さんやお母さんは“一生懸命”でしょ。その一生懸命さが子どもには嬉しくて、頼りになるんです。親に心配かけるのは子どもの“仕事”みたいなものだけれど、子どもはその年齢にふさわしい失敗をつみ重ねながら、ちゃんと育っていくみたいですよ。
- そうわかっているけど心配なときは…

…裏面の「ひとりで悩まないで」のところを見てください。